



2025春闘を職場・地域から闘おう！ ⑥

再度満額の賃上げを要求！

2025春闘第5回団交

本部は本日、2025年度賃金引き上げ、夏季手当及び諸要求に関する申し入れに対する第5回団体交渉を開催しました。今回は、組合掲示板の設置と、ベア、定期昇給、手当などについて再度議論しました。

組合掲示板について、本部は「労働協約第16条には人数は謳われていない。24協定を根拠に組合員が1人になったという判断はおかしい。掲示板を撤去したことは協約違反だ」と主張しました。会社は「他の組合と公平に行っている。24協定等以外に組合員であるという証明を出せ」などと傲慢な態度に終始しました。

ベア、定期昇給、手当などについて、本部は「我々の要求は、満額出せる条件は十分ある。調整手当をベアと一緒に出すな。あくまでも手当である。調整手当について会社の主張はおかしい。なぜ都市手当の要素から付けた手当であるにもかかわらず、東京と地方が同じなのか。物価、特に住宅賃貸料の価格は突出している。差別であるとともに賃金格差が大きくなっている。特殊な勤務体系であるため、祝日手当や食事手当は付けるべき。扶養手当は子ども手当を増やしているから良いだろうという理屈はおかしい。昇格試験において、現在S2、S3等級の社員が圧倒的で、C1等級はあまりにも少ない。何度も昇格試験に落とされれば、嫌気がさして会社を辞める」などと主張しました。

会社は「手当は、令和2年度に改訂したので、これを変える考えはない。今回の手当改正では、会社は社員が意欲をもって将来にわたって働いてもらうために、原資の再配分を行い、相当持ち出している。個別に違いが出ることは承知している。昇格試験は苦勞した者が報われるために行っている。苦勞しない者が昇格すると差別になる。ベアは会社が決定する」などと回答し、私たち社員の思いを一切受け止めようとはしませんでした。

今団体交渉で、申し入れに対する議論は終了しました。次回、会社から回答が示されます（回答日は未定）。